

サステナビリティ重点課題と2030年目標の見直し 及び「2050年カーボンニュートラルの実現」について

三菱食品株式会社（東京都文京区）は、このたび、2021年5月公表の中期経営計画2023（以下「中経2023」）で掲げた当社パーパス（「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」）に根ざしたサステナビリティ経営を実践するべく、2020年5月に4つの2030年目標を掲げ取り組んで参りましたが、直近の社会環境の大きな変化と「中経2023」の内容を踏まえ、三菱食品グループの「サステナビリティ重点課題と2030年目標」の見直しをいたしましたので、お知らせいたします。

2022年1月11日付にて既に公表済みの通り、「サステナビリティ方針」に基づく地球環境保全推進の具体的な打ち手として、「CO2排出量削減に向けた環境配慮型電力契約への切替」と「環境配慮型車両の試験導入開始」を致しました。今後もカーボンニュートラルの実現と社会課題の解決に努めてまいります。

<サステナビリティ重点課題と2030年目標>

2022年2月22日開催の取締役会において、サステナビリティ重点課題と2030年目標の見直し及び「2050年カーボンニュートラルの実現」を決議し、CO2排出量削減目標の見直し（引き上げ）をいたしました。

重点課題	2030年目標
環境 	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO2排出量（※）を2016年度対比60%削減します。
地域・暮らし 	食品廃棄量を2016年度対比50%削減します。
健康 	プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用します。
価値創造の基盤 	強靱で持続可能なサプライチェーンを構築します。
	地域課題の解決と地域貢献に資する商品・サービスの創出／拡充を行います。
	健康課題の解決と健康に資する商品・サービスの創出／拡充を行います。
	個性を尊重し、能力、適性を活かし健康的に活躍できる組織風土の醸成とエンゲージメントの向上を実現します。

パートナリシップ&イノベーション

※Scope 1（事業者自らによる温室効果ガスの直接排出）及びScope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）による排出量